

地元商工業の活性化を 最優先した工事の発注を

談合疑惑関連質疑

地元業者と共同企業体を組めなかったのか

塩 史子議員 広野町が発注する工事で7億円という金額は非常に高額だと思います。公共事業が少ないときに広く業者に仕事を発注する。なぜ共同企業体を組めなかったのですか。
根本企画グループリーダー 工期的に300日という工期内で年度内の完成を計算しますと、やはり機動力、信用、実績のある大手企業でなければならぬということになり、共同企業体を編成しませんでした。

多少遅れても指名業者を再編成すべきだった

新妻良平議員 談合疑惑でこれだけ新聞等をにぎわしたからには、何日か契約を遅らせてでもメンバーを編成し直す必要があったのではありませんか。
塚越助役 談合情報は、福島民報新聞社いわき支局に寄せられたわけですが、確認したところ、匿名ということ、提供者が信頼できるのか、その情報の信ぴょう性についていろいろ検討することができない状況でした。

そうした中で、新たにメンバーを再編成するのはいかがなものかと考えまして、より客観的に考えるために指名委員会を開催し、この対応にあたって来たところ、その結果として、実施すべきだと判断されたところです。

なぜ地元業者が入札に参加できないのか

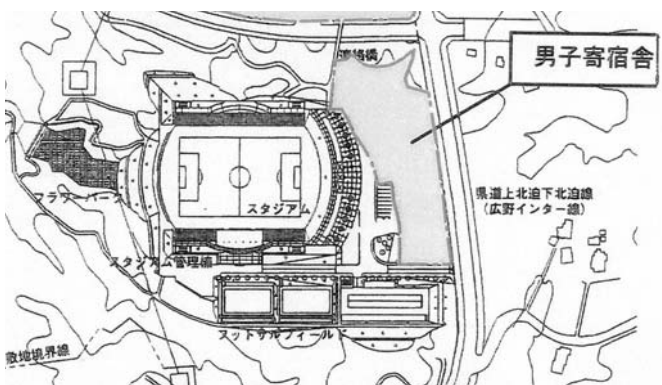
中津伸一議員 大手企業と地元業者で共同企業体を組めないのですか。

談合問題に町はどう対処したのか

塩 史子議員 新聞をにぎわすような談合問題があつて、1回の入札で情報どおりの業者が落札するというのは、町民も非常に疑念を持つと思います。町としてどのような調査を行い、結果どのような結論に達したのですか。
根本企画グループリーダー 6月

談合情報の業者が落札
JFAアカデミー工事
広野町が発注するJF

「お断わり」
6月6日の福島民報新聞で、入札日（線部分）が「三日」になっていましたが、正しくは「五日」です。
JFAアカデミー福島の男子合です。で、落札業者が決まると、寄附金が入札を「まってる」との情報がめぐる談合情報が寄せらる。町は翌二日、町に町工事等指名委員会（委員長・塚越義英助役）を聞き、各業者から事情を聴取した結果「談合の前に入札を辞退した一社を除外して競争入札を行った。」と決定した。入札を行うことを決めて、6月6日「福島民報新聞」より



男子寄宿舎新築工事位置図

地元業者を育てるのは行政の使命ではないか

中津伸一議員 町長は議会議員のときに大きな仕事になぜ地元業者を入れないのかと質問したことがあります。なぜ今回の仕事に地元業者を入れないのですか。
町長は地元業者の育成というものをどう考えているのですか。地元業者の技術力アップをはかるのであればこういう仕事で共同企業体を組んで、大手企業の技術を学ばせて地元業者を育てるのが行政の使命ではありませんか。
山田町長 もちろん議員のときに質問していますが、今回は指名委員会において経営内容や技術力をすべて考慮した結果です。

300日以内に仕上げるのに地元業者は足手まといだということですか。
根本企画グループリーダー 共同

企業体を組むという方法もたしかにありましたが、今までの工事金額の実績、また、今回は建築ということ、やはり工期内に完成させるためには、技術力のある大手企業しかないということ、業者を選考しました。



災害復旧にあたる地元業者